

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本フルハーフ機庫木工場第三工場新築工事	階数	地上4F
建設地	厚木市上依知字上ノ原3034番、3015-1番	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年5月 予定	評価の実施日	2016年3月22日
敷地面積	7,021㎡	作成者	株式会社フジタ首都圏支社一級建築士事務所
建築面積	3,676㎡	確認日	2016年3月22日
延床面積	10,452㎡	確認者	株式会社フジタ首都圏支社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 97%
 ③上記+②以外の: 97%
 ④上記+: 97%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・メンテナンス性を重視した設備計画を行って建物の耐用性を高くしている。		
Q1 室内環境 ・室内換気を確保し、F☆☆☆☆の材料を使用し空気質環境の向上を図っている。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材やダクトを使用して部材の長寿命化を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺の建物にあわせるような外観として、調和を図っている。
LR1 エネルギー ・高効率の空調設備、換気設備、照明設備を採用して省エネルギーを図っている。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用している。 ・躯体と仕上材の分別を容易にして、リサイクル性の向上を図っている。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明の設置は無く、光害の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される